【From Kobe 2023 8 月】

ひまわりの夏 2023 神戸便り　　2023.8.1.

厳しい夏　お変わりありませんか‥‥　自宅のある若草の丘からながめる須磨アルプス　もう野の百合が咲きだしました

酷暑が続く毎日　無理せず　毎日を元気に　2023.8.5.
■ひまわりの夏2023　photo 点描
■8月が来るといつも見直す自分　やっぱり気にかかる先行き、平和な暮らし
「命は宝」「NO WAR」原爆の恐怖と苦しみ
核兵器廃絶は地球人が生き延びる道　平和な暮らしをとりもどそう
【収録１】ひまわりの夏　2023.　Photo Album
【収録２】文珍さんの落語見聞録
認知症の薬名前思い出せず 2023.7.20.神戸新聞より

暑中お見舞い申し上げます

梅雨末期の集中豪雨が各地で猛威を振るいましたが、
梅雨が明けると過酷な酷暑が続く2023年ひまわりの夏
酷暑と台風　そして流行の兆し新型コロナ７波にも負けぬよう
どうか御自愛ください
無理せず　感度をあげて御身お守りください

God be with YoU!!　From Kobe
ひまわりの夏2023　2023.8.1.　Mutsu Nakanishi

厳しい夏の始まり　元気を貰ったひまわりの夏

真っ青な空にもくもくと入道雲　うれしいひまわりの夏到来
久し振りに原チャリで駆けて　小野のひまわり畑へ
また、初夏の京都も３年ぶりか‥
是非見たかった府立植物園に咲くバオバオの花
幟を翻しながら京の街を堂々と行く大船鉾の姿に一目散
久し振りの夏の京の祭りに酔いしれました
この夏を乗り切るエネルギーの一助になれば・・・・・・・

コロナ収束 行動節制が外れたひまわりの夏 2023 確実に歳はとりましたが、自分も仲間も元気な夏に。
厳しい世相の中、暑い夏 まだまだ酷暑がつつきますが、無理せず御自愛ください 元気に毎日を

God be with You!!　2023 盛夏 From Kobe　Mutsu Nakanishi

Photo Album　真っ青な空にもくもく立ち上る入道雲 2023 ひまわりの夏 点描　20223.8.5.

コロナ収束行動節制が外れ、あれもしたいこれもしたいと思いが募る３年ぶりの夏
確実に歳はとりましたが、まだまだ足は動くし、自分も仲間も元気なうれしい夏に。
気がかりはますます激甚化する気候変動　いつ我が身にとの核の脅威とウクライナの平和
毎年恒例にしていた兵庫の夏の風物詩との出会い。待ちかねた夏のひまわりと朝顔
祇園囃子と共にあの復活した大船鉾が幟を翻しつつ、都大路を行く堂々とした姿も見たい
思いつくまま　気の向くまま　家籠りを脱して　この夏を楽しみたいとひまわりの夏 2023HP
重複しますが、From Kobe に抜粋掲載しました。

他にも沢山メール・便り・Telいただきました
仲間の元気はみんなの応援歌　ありがとう

この夏　仲間が送ってくれたメールや LINE・Tel 等を使って　元気いっぱいの便りの一部です
仲間の元気は生きる力　みんなの応援歌　ありがとうございます

佐用 東徳久のひまわり畑 今年も数多くの元気なひまわりに出会えました　2023.7.

古代たたらの郷 佐用 千種川が流れ下る東徳久の里のひまわり畑

≪京都の夏(1)　府立植物園 アフリカの巨樹バオバブ大 輪の一夜花 と下鴨神社の御手洗祭≫　　2023.7.27.

≪京都の夏(2)祇園祭後祭　山鉾巡行幟を翻し都大路を行く勇壮な大船鉾≫　2023.7.28.

京都府立植物園から眺める比叡山の夏姿　2023.7.23.

初夏暑い温室の中で　真っ暗な夜中に咲いて朝には茶色くしぼみ始め、
昼には茶色く変わりつつ萎んでしまうアフリカ バオバオの巨樹の花。
「星の王子様」に出てくる花で　巨樹本体と花の取り合わせの妙
毎年楽しみで今夏もむし暑い京都府立植物園温室の中で　2023.7.23.
バオバオ樹のモニュメント下で、仲間が一体になって踊った思い出の巨樹の花

朝　真白な花が巨樹のえだからぶら下がって咲き、昼には茶色く変色してしぼんでしまう。時期を逃すと見られない。祇園祭の頃の７月下旬が一番の咲き頃かつて民博の西アフリカの特別展に参加して、「これが星の王子様の木か・・」と初めて知ったヘンテコな巨樹。枝から下に釣り下がったランプのように大輪の花をつける。そして、一夜明けると昼には花の姿が見られなくなる。民博で附塗化の仲間やみんなで輪になって踊った懐かしい思い出の巨樹。

祇園祭になると電話をかけて、咲き頃を確かめて見に出かける。コロナが収束して久し振りに見るバオバオの花。思い出深い花。　この酷暑の中　温室の花見に焼くのはあんただけや・・・・と家内は言う。

翌日は祇園祭後祭りの山鉾巡行　巡行の最後を行く、勇壮な大船鉾の姿にも魅了。うれしい夏の始まりになりました。

8月が来るといつも気にかかる先行き、平和な暮らし・

「命は宝」「NO WAR」　原爆の恐怖と苦しみ　核兵器廃絶は地球人が生き延びる道

日本 ・世界に平和な暮らしをとりもどそう

一日も早くウクライナに平和な暮らしが戻りますように

勝手なことをまたぶつぶつですが、

平和理念の底にある原点を一人一人の胸に　ダメなものは駄目だと・・・・

「命は宝」そして「日本は早急に核兵器廃絶・核兵器不拡散条約に参加を」

2023.8.5.「原爆の日」神戸新聞　正平調より

正平調

首脳がそろって広島の原爆慰霊碑に献花し、G7サミットが閉幕した今年5月。91歳の被爆者、サーロー節子さんは怒っていた。「自国の核兵器を肯定し、対立する国の核兵器を非難するばかりの発信を被爆地からするのは許されない」◆この発言に、ネットで異論が相次いだ。「国際政治の現実とかけ離れている」「岸田首相の苦労にまずは感謝すべきだ」。さて、みなさんはどう感じたか◆迷った人に読んでほしい絵本がある。「光にむかって」（汐文社）。核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）がノーベル平和賞を受けた日、サーローさんが行ったスピーチが基になっている◆13歳だった。一瞬の閃光ですべてが吹き飛び、がれきに埋まった。死を覚悟したとき、誰かの声がした。「あきらめるな。光が見えるか。そこに向かってはっていくんだ」。一切を失ったが、核廃絶という光を信じて生き抜いた◆評論家内橋克人さんの言葉がある。権力者が語る「権論」が大手を振り、人々が「これも時代の流れ」と肯定するようになった時、民の立場からわき出る「民論」は弱まり、社会は後戻りできなくなっていると◆仕方がない、これが現実…。そんな言葉をサーローさんは使わない。今日は原爆忌。民論は光に向かって進む。　2023.8.6

上記神戸新聞「正平調」氏の言葉。今一番こころに響く平和の願いの言葉が詰まっている。
私にとっては今一番すっと受け入れられる言葉です。
日本は 広島・長崎そして福島で起きた惨状・原爆の恐ろしさを封印してしまっている
思いはひとそれぞれでしょうが、しっかり受け止めねばと感じています。

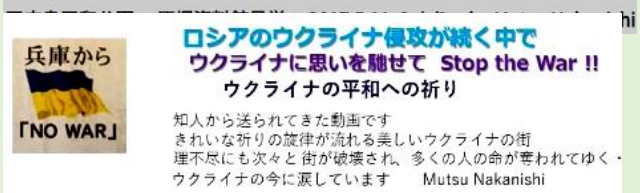
2023.8.5. From Kobe　Mutsu Nakanishi

８月５日　原爆の日に寄せて　平和を願って　決意も新たに!!

◆　安里有土君の詩
(2013.6.23.発表当時小学１年生.)
「 へいわって　すてきだね 」

◆ Photo **「 原爆資料館 ＆ オバマさんの折り鶴 」**

◆ スライド動画　**広島平和公園・ 原爆資料館見学**
(3mins53)1min 23s 後から映像展示資料
原爆を投下された広島の映像が入っています



■ ウクライナ讃美歌　「ウクライナへの祈り」

毎年8月　皆様に配信しているひまわりの夏 2023
今年もまっ黄色の明るいひまわりを届けることができました。

もう　頭まわらずで、本年より記述を少なくして、Photo 記録でお伝えできればと、パワーポイントを使って、
スライド動画・PDF 保存資料にまとめて配信するスタイルに変更しています。
これで　PC・スマホ・iphone　での閲覧と記録がしやすくなりました。ご了解ください。
また、上記をもとに、まだ途上ですが、PC・スマホ・iphone　での閲覧を見やすくするよう手を付けた次第。
頭の体操にもなりました。
ホームページ更新　8月メッセージをどうしようかと考えあぐねている時に接した
神戸新聞8月5日正平調のメッセージ。取り残され感がある今の自分に一番す～と入ってきたメッセージ。
元気を貰ってそのまま掲載せていただきました。

コロナ収束　行動節制が外れたひまわりの夏 2023　確実に歳はとりましたが、自分も仲間も元気な夏に。
まだまだ厳しい世相の中ですが、元気に毎日をと。
それにしても暑い夏　まだまだ酷暑がつつきますが、無理せず御自愛ください

God be with You!!
2023 盛夏 From Kobe　Mutsu Nakanishi

困難の中に居られる方々にエールを!!
日々新た　今できることを精一杯
無理せずゆっくりと
いつも　思いをはせています。
「忘れまい　忘れないで　仲間がいる
暖かい希望の輪がつながっていることを」

神共に居まして
変えられるものを変える「勇気」．
変えられないものを
受け容れる「心の静けさ」
両者を見分ける「叡智」を
ニーバーの祈りより．

God be With you !!
from Kobe　Mutsu Nakanishi

【From Kobe 2023 8 月】ひまわりの夏 2023 神戸便り

収録 1.　コロナも収束して新しい時代に　日本の先行きは???
今 頭によぎる不可思議な日本　年寄りの戯言です

理念なき日本の矛盾がもうあからさまに
もう飽き飽きのＴＶ　いつまで続けるのか芸能化志向　news も　NHK も・・・・・
新聞は一般紙・地方紙共に大幅部数減少の苦しみが紙面に現れている。
昔人間の私には、やっぱり後に残り、じっくり読める文章・文書なき世界にはなじめない。
拙速の言葉もある。　熟慮・判断力を養うのにすぴーどを求めるのは愚ではないか・・・・
あまりにも無責任な検証なき高度情報化・スマホの世界 今度はチャット AI だと・・・・・
でも　通信情報網ではりめぐらされた混乱のおおきさにも目を向けよう。

・一か所の電車ポイント故障が首都圏の交通圏を何時間もストップさせる・・・・
・マニュアルだけでは動かぬ機械・組織　マニュアル担い現場技術の伝承
　その場限りの自己弁護の無責任情報が社会の主流に

スマホ社会・日本の情報化はまさに親方日の丸社会に逆戻りしつつあるのではないか・・・・と。
年寄りのぶつぶつです。考えはひとそれぞれ　でも一度振り返ってみてほしい。

● インバウンドで外国から大勢押しかけ、京都など日常の暮らしが脅かされる
東京へは長くいってないのでよくわからぬが大阪難波・京都・神戸三宮を
歩く外人みれば今の日本が見えてくる。
円安の日本の所得水準・・・・　株価は上がれど生活を苦しめる物価高
手をくださず、人頼み、丸投げの無責任政治
丸投げされればされるほど儲かる輩がいる　でも 手を下している現場は益々疲弊
知恵を駆使して先端を切り開くリーダーとそれを実現する現場は両輪
それが繋がらぬ日本　自分優先が新しい　先端だという。

● 円安/ドル高の構図　どうみても日本がおかしい・・・・・・・・
高い資源・原料をドル建てで買って　製品を円で作って、　安い円をドル換算で外国に売る
この差額がみんな日銀国債でたまっているから、誰も気にしない。
今　外人が押し寄せ、大量の株を買う外国資本
高くても買わねばならぬ日本　それを商品・暮らしとして回さねばならぬ日本
物価安定・外国との賃金格差
これら吸収しているのが、日銀にたまる膨大な「紙切れ国債」だ。
国民一人一人の負債　破綻すれば国民一人一人にのしかかる。
知恵はあるのだろうか・・・・・

上記　常々頭を巡らすのですが、よくわからず、年寄りのぶつぶつの虚言。
でも　昔外人さんたちが善く歩いている街「大阪の難波」へ行けば　世界と日本の関係がよく見えると…
どう考えても、今の日本のひとたちよりも外国の人たちの方が裕福に見える。
わけのわからぬその場対応の丸投げで、全く周囲の観察・チェックもしない国内の富の分配に明け暮れる
政治家や起業家の意識ではどうにもならぬ。　もう外交以前の日本の課題と見える。

人類が生き延びてきた道は「他を思う心」とそれが生み出した「知恵と物」
地球４６億年　鉄の惑星　良いことも悪いことも一杯作り出してきた「鉄」
なんでもかんでも「鉄」にひっつけて　かんがえるんやなあ・・・とよく言われる。
でも、「鉄」の仕事に携わってきたものとして、「鉄」が輝きを取り戻し、
新しい道を切り開いてくれるものとの期待一杯です

「人間は一人だけでは生きてゆけない」
今や人類の危機　核戦争と灼熱化する地球　一人一人が考えよう　地球人そして平和な暮らし
とりもどそう日本　そして　平和な暮らし　勝手なことをひとりぶつぶつです

2023.8.1.　From Kobe　Mutsu Nakanishi

収録 2. 文珍さんの落語見聞録

認知症の薬名前思い出せず　神戸新聞7月20日朝刊より

神戸新聞

2023年（令和5年）7月20日 木曜日

神戸新聞社

文化

落語的見聞録

桂文珍

認知症の薬 名前思い出せず

世論調査なるものがあって、岸田内閣を「支持する」とか「しない」とか、コンピューターか何かが番号を選んで電話がかかってくると知ってはいたが、まさか自分が実家にいるタイミングで調査の対象になるとは…。「支持するは○番を、しないは○番を、わからな

ところがどっこい、実家は黒電話、あのダイヤル式のジーコジーコ、指で回すレトロな電話機、昭和な感じそのままに使っている。

押して下さいができない。仕方なく○番に指を入れて指止めまで回した。すると「電話をお切りください」と、いきなり調査対象から外された。アハハ、世論にも入れなかった。ヨロンに行けず、沖縄にも石垣島にも行けないわ。

何もかもがデジタル時代。デジタル庁はマイナンバーカードでトラブル続き。健康保険証と一体化なさるらしい。ヒモ付きヒモ付きって、何でヒモが…きっと落とさないように首からぶら下げるのかと一瞬思った。夏休みのラジオ体操のスタンプカードじゃあるまいしとツッコミを入れた。自らも高齢者になると物を置き忘れたり探したりするのに時間がかかる。ゆえに最近はカード入れを首からぶら下げている。その中に私のマイナンバーカードを入れているのだから、元々ヒモ付きじゃわいと。

この激しい物忘れ、ひょっとして認知症だったらどうしよう。いいお薬がアメリカで承認されたらしい。やがて日本でも…朗報だ。ありがたい。

落語「くっしゃみ講釈」。好きな女性と2人きりで会っていた男が、講釈師に邪魔をされた腹いせに講釈中に客席からコショウの粉を火にくすべて煙が鼻の穴に入るとエゲイくしゃみが出る、そのとき、講釈師にボロクソに言って帰ろうと計画。早速、コショウの粉を買いに行くが、この男、すぐ物の名前を忘れる。好きな芝居のことなら思い出せるというので、きっかけを「八百屋お七」のお七の相手、駒込吉祥寺小姓の吉三と決めた。小姓でコショウを思い出せと教えられ、八百屋に行くと案の定忘れ、教えられた通り大きな声で一段語ってやっとコショウを思い出すが、売り切れ。代わりにトウガラシの粉をくすべて煙を出し大変な騒動になる面白い噺だ。

この男と同じように私もよく忘れる。認知症を進ませない薬の名…エーと、ウ～思い出せない。

（かつら・ぶんちん＝落語家）　＝次回は8月17日＝

今回も文珍さん快調　　今 大きな話題となっているマイナンバーカードと健康保険証の一体化問題。
年寄り誰も今の保険証使うことで困ってないよ。ややこしい紐ひも付きなんてと思うのですが。

本題にもどって　年寄りの物忘れ
関連することを頭に浮かべて思い出す。でも　それもよく忘れる。もう年寄り　半分はあきらめ。
それでも　年寄り 助けてほしいなぁ‥。

落語「くしゃみ講釈」　東京・大阪数多くの落語家が演ずる話。
落語家によって演じ方が違う滑稽話で、 今もよく聞く落語。
今やったらそれこそインスタに挙げられて大問題。でもギスギスしないこんな時代があったと毎度嬉しくなる。
「八百屋お七」のからくりの一段。落語家の個性が出て耳に残る

暑い夏の夜　落語を聞きながら笑って眠るのも良し。6 月の文珍さんの落語見聞録が抜けました。
うっかり新聞紙面破棄してしまいました。別途追加させていただきます。

2023.8.5.　Fropm Kobe
Mutsu Nakanishi